

どんなときでも こんなときこそ「顔の見える関係」から「手をつなぎ合える関係」をめざして

ことう地域チームケア研究会 たより

令和4年1月31日発行

つながろう 話そう
ウェブ de 研究会

第53回 ことう地域チームケア研究会を開催しました

◆開催日時: 令和4年1月20日(木) 18:30~20:30

◆参加者: 68名(医療関係25名、福祉関係16名、行政・その他 27名)



ねらい

- ①口の健康の重要性や口腔アセスメントのポイントについて理解を深める。
- ②歯科・口腔および栄養の視点から、「食べる」ことへのアプローチについて理解を深める。
- ③専門職として、それぞれの立場で、またチームとして、口の健康・食支援の課題について考えることができる。

「歯科・口腔・栄養」について～“食べる”を支援～

話題提供1 『口腔アセスメント用チェックシートを利用して 口腔チェックのポイント』 彦根歯科医師会

前年度に引き続き、彦根医師会 堤正彦氏より「口腔アセスメントシート」活用について、口腔チェックの必要性やポイントなど解説をしていただきました。また、口腔内診査の観察項目として「歯の有無、虫歯の状況、粘膜の状況、入れ歯の状況」等について画像付で詳しく説明していただきました。

「口腔アセスメントチェックシート」とは
◆患者・利用者様の健康を口腔内からも問題を抽出するべく、看護、介護スタッフなどの方々が要介護者の口腔内の問題を簡便に抽出するための口腔スクリーニングツール

- 感染症対策をしっかりとこなう。
- 可能であれば含嗽剤でうがいをしていただく。
- 口腔内を隈なく診査するのは結構大変。
- 必ずしも要介護者の方がお口を開けてくれるとは限らない。
- その場合はご家族の問診などから推測することで新たな発見に繋がることも。
- 無理のない範囲で利用を。

- ☆口腔ケアの重要性を要介護者ご本人、ご家族に理解いただけるようになることがまず第一目標!
- ☆チェックシートの全てを網羅する必要はない!



気づいたこと、わからないことは、かかりつけ歯科医に相談を! つないで下さい。



堤正彦氏

話題提供2 『歯科衛生士がつなぐ食支援～そうだ歯科と繋がろう～』 滋賀県歯科衛生士会

歯科衛生士会の木下幸子氏より、食支援での大切な視点や歯科専門職の関わり、連携等についてお話ししていただきました。

『食べるために必要なこと』

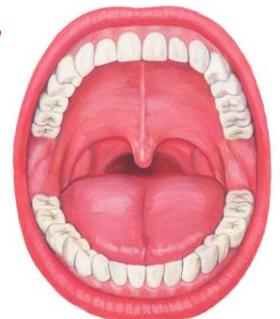
☆食べる意欲があるかどうか?

永井の法則

「食べたいものを大きな声で言える人は食べられる!」

☆口の中はどうなっているのか?
☆お口の機能は?

- 歯はある??
- どこの歯が残っている?
- 歯はぐらついていないか?
- 入れ歯は入っている??
- 舌の力は?



木下幸子氏

嚥下ってよくわからない、見えないからだからこそ、正しい知識を備えて対策していきましょう。
食べることは人の尊厳にかかわることです。わからないですませてはいけない問題です。色々な職種で支援をしていきましょう。気軽に相談してください。



そうだ!
歯科へ相談しよう!

グループ交流会

話題提供を受けて、短い時間でしたがオンライン上で8つのグループに分かれ、歯科・栄養の専門職の方々を交えて、それぞれの立場や現場での状況や思い、あったらいいなという取組など、意見交換を行いました。(一部紹介)

- ◇日頃から口腔内に関心を持って利用者さんに関わることは大切。しかし、介護の現場などでしっかりとアセスメントを行い、問題を見つけ出すことはなかなか難しい。歯科受診につなげたほうがいいのかどうか判断も難しい。かかりつけ歯科医をもって、歯科・口腔の専門家と相談できる関係づくり、連携をしていくことが重要。
- ◇口腔・歯科・栄養の分野についても気軽に専門的相談をしていける基盤づくりが必要。
- ◇チェックシートや食事形態一覧表を活用することが、今後の職種間の連携促進につながっていくとよい。



こんなこと思いました

第53回参加者アンケートより（一部抜粋）



1. 「口腔アセスメント用チェックシートを利用し 口腔チェックのポイント」について

- ◆(歯科医師) 歯科関係者以外の方に、口の中のことを知っていただけるととてもいい話題提供だったと思います。
- ◆(看護師) 口腔内のチェックポイントがわかりやすかったです。
- ◆(介護支援専門員) 口の中の病気のことがわかり、異常を見つけたときには早めに相談をできるようにしたいと思った。◆ 昨年の研修内容を振り返る機会になった。シートの活用があまり出来ていないこと反省した。
- ◆(歯科衛生士) とてもわかりやすかったです。出来ればチェックシートに口腔の図があればこの辺に気になる傷が有りますとか、指摘し易いのではないかと思います。
- ◆(管理栄養士) 口腔アセスメント用シートは聞き取りでもよいとのことで、上手く利用できそうです。

2. 「歯科衛生士がつなぐ食支援」について

- ◆(歯科医師) 少しでもお口に関して疑問に感じたり不安なことがあれば、歯科に相談していただくという意識を持っていただけになればと思います。
- ◆(看護師) 嚥下リハなど 施設の看護師などに伝えていけると良いと思いました。
- ◆(介護支援専門員) 食欲低下の原因に口腔機能低下も視野にいれてアセスメントするようにしたいと思った。◆ 食支援を考えるときに、悩まず相談したいと思いました。◆ 食べたいと思う気持ちとそれを支援する事の大切さを学びました。
- ◆(歯科衛生士) お口の中を見るハードルが下がれば有難いです。
- ◆(管理栄養士) 口の中に問題がある場合に気軽に相談できる歯科衛生士さんがおられると心強いです。お話の中で、食べる意欲のない人への支援は難しいという言葉が印象に残りました。

3. 「湖東食と栄養を考える会」の活動について

- ◆(歯科医師) 食形態の分類やとろみの付け方など参考になりました。この形態を少しでも良くしていけるように関わっていければと思う。
- ◆(看護師) 配食サービスの方でも一覧があると良いと思いました。
- ◆(介護支援専門員) 病院や施設の食事形態の違いが分かるサービス事業所への情報提供がスムーズにできると思いました。◆ 食事形態や水分トロミなど、図表を用いて教えてもらいわかりやすかった。◆ とろみの付け方など参考になり利用者さんにお伝えしたいなあと思いつながりながら聞かせて頂きました。
- ◆(歯科衛生士) 男性高齢者の方で、炭酸が飲みたいと言う希望はよく聞きます。安全に召し上がって頂くために良い手法だと思います。又提案させていただきます。
- ◆(管理栄養士) 同じ刻み食でも施設によって違いがあっても、食事形態一覧表で確認することができ、素晴らしいツールだと思います。

ホームページ「在宅医療福祉情報の森」で研究会の情報をご覧いただけます。

【次回のご案内】 テーマ：「事例検討」

(担当世話人団体：彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会)

日時：3月10日(木) 18:30~20:30

*Web(ZOOM 使用)参加と会場参加のハイブリッド形式で行います。
(感染拡大状況によりオンラインのみになる場合もあります)

*事前申し込みが必要です。ホームページ「在宅医療福祉情報の森」でご案内致します。

【研究会に関するお問い合わせ】

ことう地域チームケア研究会事務局

◆(社)彦根愛知犬上介護保険事業者協議会
(TEL 49-2455 E-mail:info@gen-ai-ken-kaigo.jp)

◆彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)